

今回は、沖館伽良さんの模擬国連の参加報告です。

◇ 沖館伽良さん(1年)が、学生自主グループによる模擬国連に参加しました!

会議名: 第4回 もぎこみゅ!主催 オンライン模擬国連

主催者: もぎこみゅ!(学生団体)

日時: 2020年9月6日(日) 13時~18時

テーマ: 新型コロナウイルス拡大の伴う各国の協力

参加者数: 18名(運営も含む) 中学生、高校1・2年生

参加者の状況: 中学生、高校1・2年生が主に参加

方式: 通常の模擬国連は、大会方式で対面で行われるが、コロナ禍の中、感染症対策のため、Zoomアプリを使用したオンライン方式で実施した。

◇ 模擬国連にいたる経緯と当日の様子

<当日まで> 今回は、8月に参加した東海模擬国連大会の運営の方から、「9月6日に模擬国連が初心者向けで開催されるので参加してみませんか?」という連絡があり、参加を決めました。その後、紹介してもらったURLからネット申し込みをしました。申し込みが完了した後は、運営団体「もぎこみゅ!」よりメールで今回の会議に関わる資料受け取りました。そこから9月6日までは、個人資料作成の時間でした。資料作成では、自分一人で全て完成させるのは困難だろうということで、運営の方々から質問を受け付け、アドバイスをしてくれました。そして、今回は当日までにある程度完成させれば良いということだったので、資料を完成させることができました。

<模擬国連当日> 当日は13時にオープニングが始まりました。公式討議と非公式討議が繰り返し行われ、その間に10分間の休憩が2回ありました。オープニングでは出席確認と議題採択が行われ、その後、議長さんからの挨拶と模擬国連についての軽い説明がありました。

公式討議では、Zoomの挙手機能を活用し、スピーカーズリストの募集をし、1回の公式討議につき2人ずつ話すといった流れでした。そして、スピーチが終わったら非公式討議に移りました。動議の募集をし、動議がある大使はモデレートコーカス(着席討議、略称:モデ)かアンモデレートコーカス(非着席討議、略称:アンモデ)かを提案をし、それを挙手機能を用いた投票により決めました。モデレートコーカスと決まれば、論点を1つ設定をして、各大使が1人ずつ話すこととなります。

モデは全大使での話し合いとなる。それに対して、アンモデでは、大使は2、3グループに分けられそのグループ内で自由に話し合っていきます。また、その時間内で議論を深めると同時に、DR(決議案 Draft Resolution)の作成も行いました。今回の会議において中国大使役の僕とアメリカ大使が中心となってDRの作成を行いました。初めはたがいに違うグループでしたが、モデの時の意見交換で互いの意見があまり大差はなく、考えが似ていたことから、次のアンモデからグループの合体を行い、全体で1つのDRを完成させようということになりました。その後は、多少意見の食い違う場面もありましたが、議論は円滑に進み、最後のアンモデでDRが完成しました。そして、DRの投票へ移り、今回は全会一致の投票ということで反対意見はなく、全会一致という形で1つのDRが採択されました。そして、会議終了の動議を出し、無事におわったあとには、表彰がありました。僕は惜しくも最優秀

賞とはなりませんでしたが、議長賞という賞をいただきました。最後には、運営の方々からレビューをいただき、質問コーナーが少しあり、そこで僕も少し質問をさせていただき、そして解散となりました。

◇ 感想 ～運営スタッフのみなさんへの感謝～

今回参加した模擬国連はもちろんオンライン開催で、初心者のためのやさしいものでした。今回は、僕自身が今後の活動の方向性を決め、また模擬国連についてもっと知ることを目的とした参加でした。今回の模擬国連で学んだことや感じたことは多くありましたが、今回は運営スタッフのみなさん（通称：運営さん）の働きについて報告します。

前回の会議でも感じましたが、運営スタッフの働きは僕たち参加者にとって本当に大きな役割を果たしてくれています。会議での一連の働きを説明すると、当日の2週間ほど前から資料の作成の仕方や模擬国連の詳しい説明などについて書かれた資料を配布して、また、僕が実際に作った資料への確かなアドバイスをしていただきました。そして当日は、会議の司会進行だけでなく、細かな質問にも丁寧に答えていただきました。会議終了後も、様々な視点から参加者を評価をして、「次は～するといいですよ」とアドバイスをしていただきました。

これらは今回の会議での一部でしかありませんが、今後の自分の活動において、今回の運営さんのような姿でやっていきたいなと思いました。

今後、自分自身が運営スタッフとなってひとつの模擬国連大会を作っていく際に、会議で学んだことを存分に生かしていき、これからの活動をさらに充実したものにしていきたいです。



ズームアプリを使用した会議の様子（もぎこみゅ！公式FBより転載 許可済）